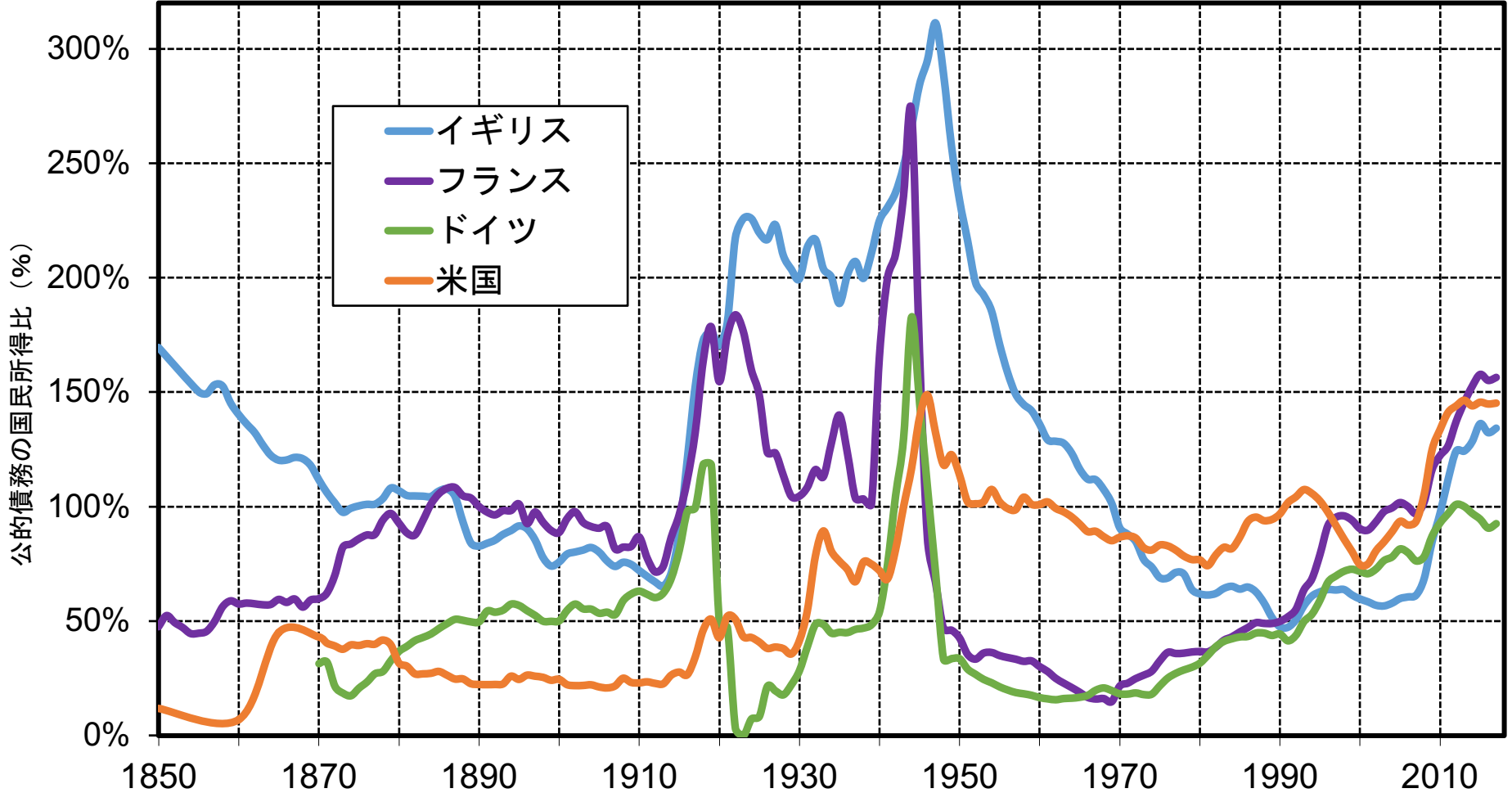


図10-9 公的債務の変遷、1850-2020年



解釈: 公的債務は二大戦後に、国民所得の150から300%に急増した。そしてその後ドイツとフランスで(債務救済と高いインフレによって)急減し、イギリスと米国では(緩やかなインフレ、成長によって)より緩やかに減少した。公有資産(とりわけ不動産と金融資産)は、それほど  
の時代変動はなく、おおむね国民所得の100%ほどだった。出所と時系列データ: [piketty.pse.ens.fr/ideology](http://piketty.pse.ens.fr/ideology) 参照。